

その間、具体的な実施計画を5年ごとに作成する中期経営計画の中で示す方針だ。

計画は、「全地区共通事項」と「地区別事項」に区分。全地区共通事項では、地区内の全施設を対象に設定。最大給水量の実績や需要見込みを考

期についても、施設区分ごとの重要度や影響度を勘案した更新基準を設定し、耐震診断や機能診断結果に基づく個別施設の状態・健全度を踏まえるほか、事業の発生時期や量の妥当性についても確認し、事業費の平準化を図る見通しだ。

の対応が必要なことからも、計画的な更新と耐震対策が求められている。そのため、県企業庁では国が示した工業用水道施設更新・耐震・アセツトマシメント指針に基づき、重要度と投資効果を考慮、施設更新・耐震化計画の対象施設を抽出

いすれの施設もメンテナンス強度に問題はなく、鉄筋の被り曇りに達する中性化深度も確認できないことが分かった。また、水管橋については老朽化・耐震診断調査が必要とされた70橋を対象に、今年度は老朽化調査44橋、耐震診断調査51橋

八千代市・船橋市・習志野市・鎌ヶ谷市の4市で構成する四市複合事務組合(管理者:松戸船舶橋市長)は21日、新年度予算の概要を明らかにした。同組合では現在、八千代市内において第2斎場の建設事業を進めてお

また、本市の建設費は、前年度より増加し、選定アドバイザ業務などを盛り込んでいる。同組合の新年度予算は、25年度当初予算と比べて6987万円(5.4%)増の13億6015万円円としている。このうち、第2斎場施設費には1億4728.0万円が計上さ

る事により、石詰め後の蓋網の連結が簡単にでき作業効率も上がる、また斜面での連結作業時間が短縮され安全性の向上も図られる

・崩壊土石防護柵③斜面崩壊による土石等を捕捉する柵構造の待受け工。土工・法面工などによる自然改変や、工事影響範囲拡大による用地確保も少なくできる

# 有効性、経済性などアピール

第2回  
発表会

## 8件の新技術紹介で

県技術管理課、  
県建設技術C

経緯や取組内容などを紹介した上で、出席してい

る建設コンサルタント業者らに対し「新しい技術や工法の積極的な採用でコスト削減や品質確保などに配慮してくれ

負荷低減につながる最新情報や技術を紹介し、行政や民間企業に周知する

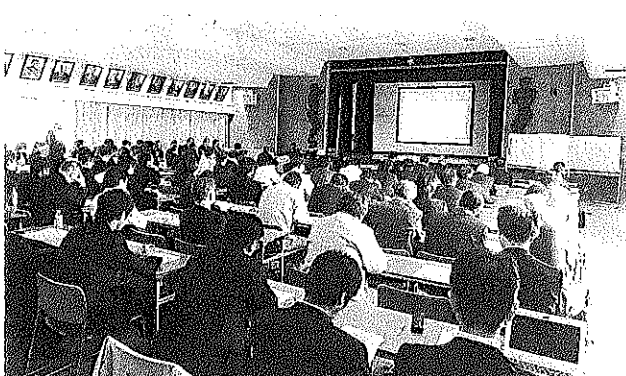
▽千葉県コンクリート製品協同組合①雑草抑制製品「ウェーブポワン

▽千葉県コンクリート製品協同組合②材料・コンクリート製品③道路の維持管理に要する除草費用を軽減

▽千葉県コンクリート製品協同組合③材料・コンクリート製品④道路の維持管理に要する除草費用を軽減

▽根本企画工業㈱①管路曲り測定装置(ネモナビ)②工法③地中に埋設された管路の3次元の軌跡を測定する装置。従来の測定装置と比較して

県土整備部技術管理課と財団法人建設技術センターの共催による25年度土木技術講習会(第2回新技術発表会)が20日、県庁内で開かれた(写真)。当日は先に公表された「ちば千産技術」5件を含む民間企業が開発した有効な新技術8件が開発者らによって一つひとつ紹介され、自治体の土木系職員や民間業者の代表らが各技術について熱心に聴講していた。



発表に先立ち、主催者を代表して技術管理課技術情報室の土屋隆三室長があいさつ。これまでの



土屋室長

あるため、滑り難く、水に強く、錆びの心配がない。軽くて扱いやすいため、敷設

▽千葉県コンクリート製品協同組合①雑草抑制製品「ウェーブポワン

▽千葉県コンクリート製品協同組合②材料・コンクリート製品③道路の維持管理に要する除草費用を軽減

▽根本企画工業㈱①管路曲り測定装置(ネモナビ)②工法③地中に埋設された管路の3次元の軌跡を測定する装置。従来の測定装置と比較して

同発表会は15年度にスタートして今回で22回目。民間で開発された、コスト削減や環境

▽千葉県コンクリート製品協同組合①雑草抑制製品「ウェーブポワン

▽千葉県コンクリート製品協同組合②材料・コンクリート製品③道路の維持管理に要する除草費用を軽減

▽千葉県コンクリート製品協同組合③材料・コンクリート製品④道路の維持管理に要する除草費用を軽減

▽根本企画工業㈱①管路曲り測定装置(ネモナビ)②工法③地中に埋設された管路の3次元の軌跡を測定する装置。従来の測定装置と比較して

### 新技術

▽東亜トラウト工業㈱①インパクトバリア工法(柔構造斜面)②工法

▽関東支店①フル・ファンクション・ペーパー(FPP)②工法・多機能型排水性舗装③混合物一層